



The Door Step to Japan

vol.40

2018年 春夏号

日本の扉
浅草
浅草・槐の会
ASAKUSA

平成三十年 戊戌		平成三十年 戊戌	
一月 (睦月) 初詣 浅草名所七福神もろで	二月 (如月) 三日 節分の日 八日 針供養	三月 (弥生) 十八日 浅草観音示現会・金龍の舞	四月 (卯月) 八日 釈尊誕生日(花まつり) 八日 白鷺の舞 二十一日 浅草流鏑馬 二十二日 早慶レガッタ
五月 (皐月) 五日 宝の舞 十八、二十日 三社祭 二十六、二十七日 お富士様の植木市	六月 (水無月) 三十日 お富士様の植木市	七月 (文月) 一日 お富士様の植木市 九、十日 四万六千日(ほおずき市) 二十八日 隅田山花火大会	八月 (葉月) 十五日 万霊燈籠供養会 二十五日 浅草サンバカーニバル
九月 (長月) 上旬 台東薪能 二十三日 彼岸会	十月 (神無月) 十八日 金龍の舞・菊供養	十一月 (霜月) 三日 白鷺の舞 十一、二十五日 酉の市 十五日 七五三	十二月 (師走) 十七、十九日 歳の市(羽子板市) 三十一日 除夜の鐘(弁天山)

浅草を彩る3月~8月の代表的催事

5月

皐月

「びんざさら舞」

● 5月18日

浅草付近の宮戸川で示現された観音像は、現在の駒形橋付近から陸にあがられ、槐の木の切り株の上に安置されました。そのおり、草庵(藜堂(あかざどう))を作った十人の千束田圃の百姓衆が、草庵の完成を祝って踊ったのが「びんざさら」の始まりといわれています。三社祭奉納の「びんざさら舞」は、田楽舞(ささら舞)と獅子舞の二つの舞が備わっている全国でもめずらしいものです。



三社祭

● 5月18日~20日

浅草神社は、浅草寺観音像を浅草付近(宮戸川)から網得した漁師、檜前浜成(ひのくまはまなり)、竹成(たけなり)と、土地の識者、土師中知(はじのなかとも)の三人を祀るところから、古くは三社権現と称されていました。三社祭の名はここからきています。三社祭は神輿渡御が有名で、浅草神社の氏子町会四十四ヶ町の神輿勢揃いが土曜日の午後1時に浅草寺境内で行われ、浅草が祭り一色に染まります。



5月 三社祭
写真協力：
台東区写真連盟
青山真平氏

6月

水無月

お富士様の植木市

● 5月26日・27日、6月30日・7月1日

浅間神社(俗にお富士様)の縁日で、元禄の頃に富士山信仰から始まったものです。当初は、6月1日の山開きに合わせて5月晦日・6月1日の両日でしたが、明治以降山開きが7月1日になったことから6月晦日と7月1日も合わせた四日間のご縁日となり、近年になって5月と6月の最終土・日曜日に行われるようになりました。柳通りと神社を中心に約350軒の植木屋と200軒の売店が出ますが、この界限は花柳界と呼ばれる地域で浴衣姿の家族づれにまじって粋な芸者衆の姿を見かけることもあります。



7月

文月

四万六千日《ほおずき市》

● 7月9日・10日

下町の風物詩、夏の草市(植木市、朝顔市、ほおずき市)の一つで、この日に浅草寺にお参りすると特にご利益があるといわれる功德日でもあることから、境内は正月、三社祭に次ぐ人手となります。



隅田川花火大会

● 7月28日

享保年間に始まり、両国の川開きとして250年の伝統を保ってきた花火大会ですが、交通その他の事情により昭和36年を最後に中断しました。それが昭和53年に隅田川花火大会として復活。現在の会場は今戸付近と駒形橋-厩橋間との2会場で夏の夜空を彩る浅草の風物詩となっています。



7月 隅田川花火大会



4月 早慶レガッタ
写真協力：
台東区写真連盟
田村和夫氏

8月

葉月

万霊灯籠供養会

● 8月15日

8月15日の「終戦記念日」に営まれるこの法会は、太平洋戦争で亡くなった戦災者供養のため行われ、現在は幅広くお盆の先祖供養のためにも営まれています。本堂内での法要後、本堂裏の境内地をかがり火で結界し、不動尊のご真言を唱える中、灯籠をお焚き上げします。

浅草サンバカーニバル

● 8月25日

本場のブラジル・リオから、その年の優勝チームを招待して熱狂の夜を過ごすのが、真夏の夜の夢、浅草サンバカーニバルです。お祭り好きで浅草を愛しリオ通であった故・伴淳三郎さんと前台東区長内山栄一氏が意気投合して企画したものです。浅草商店連合会の有志を中心に昭和56年8月29日に第1回浅草サンバカーニバルを成功させました。以後、毎年8月の最終土曜日に開催され、浅草の新しい息吹を示す祭典として定着しています。



8月 浅草サンバカーニバル

【そのほかの行事】

- ◆ 3月18日 浅草観音示現会金龍の舞
- ◆ 3月20日~4月8日 隅田公園「桜まつり」
- ◆ 4月8日 白鷺の舞
- ◆ 4月21日 浅草流鏝馬
- ◆ 4月22日 早慶レガッタ
- ◆ 4月28日 泣き相撲
- ◆ 7月1日 浅草富士浅間神社「例大祭」(山開き)

第四回

「浅草神社の歴史
後編」

浅草寺子屋

講師
荒井修

この記事は2010年に文化・芸術・観光のまちづくり協会が主催した「浅草寺子屋」の内容を再現したものです。講師を務めたのは我が槐の会のメンバーであった荒井修氏。浅草の老舗舞扇店「荒井文扇堂」の四代目店主です。この講演の6年後、2016年2月22日に逝去されました。浅草や江戸の文化に精通し、浅草の町興しのオピニオンリーダーでもあった氏の知見を後世に伝えていくために、小誌ではこの記事を企画しました

浅草神社の社殿は
江戸時代の建物のまま

えーと、何の話をしてたんだっけな？
だんだんわかんなくなってきた(笑)。…そうか、「応永縁起」っていう鎌倉時代末期の本がありまして、これによれば最初に三社祭をやったのは正和(しょうわ)元年、1312年の3月です。この間の「昭和」じゃないですよ。この日に神のご宣託によって神輿を飾り、天下の安栄を願う船渡御行列のお祭りをやるべきだということになったんです。1312年ということは、お祭りができてあと

2年で700年になります(2010年時点)。ですから今もいろいろ準備が進んでますけどね。三社祭700年はどんなふうになるかって。

浅草神社は、たぶんこのお祭りの12~13年前に創建してるんですよ。鎌倉時代ということになりますね。だけど、それから火事だの何だの、ずいぶん建て替えられてね。今の建物っていうのは1649年、江戸時代の慶安2年に建てられた神社そのままです。何度か修復はしてますけど、火事では燃えなかったんです。すごいですな、戦争では社殿のすぐ脇にあった神輿蔵も燃えただんですけどね。



図1：三社祭の際に公開する神輿。左は一の宮で鳳凰、右は三の宮で擬宝珠(ぎぼし)がついている

7基の神輿が並んでいたんです(図1)。国宝の一の宮、二の宮、三の宮。東照大権現、徳川家康を祀った四の宮。それから担ぐための一の宮、二の宮、三の宮。三社祭の時に見てもらえればわかるけれど、左から二の宮、一の宮、三の宮。真ん中に四の宮があって、また二、一、三の順に並んでいる。一の宮と四の宮は鳳凰でしょ。あとはみんな擬宝珠っていう玉みたいなのが乗っかってる。すると擬宝珠、鳳凰、擬宝珠、鳳凰っていう順番に並んでいるんですよ。

移さなきゃよかった
浅草神社の社宝

戦争の時に、神社の社宝が燃えちゃいけないっていうんで、全部神輿蔵の中にしまったんです。土堀だから木造の社殿よりいだろうって。そしたら神輿蔵に直撃くらっちゃったんです。神社の方はなんともなかった。だから最初から社殿に入れておけて僕は…、言っていないけど(笑)。言っていないけど、今思えばそう思いますよね。その中には古文書などいろいろなものがあつた。それが全部燃えちゃったというのが実に残念です。

慶安2年、建てるのにかかったお金が1229両1分って書いてある。なんだその半端な1分っていうのは…って思うんですけど。徳川家光が建てたんですよ。だから三つ葉葵の

紋もいろんなところに入ってますな。この時に御神体も新調されたと思われている。1229両1分っていうのを今のお金に換算するとどのくらいのもんだらうってのが気になりますね。江戸時代って、時代によって1両の換算がだいぶ違うんです。すごく高い時もあれば、後の方になって両がすごく安くなっちゃう時もある。例えば1両10万円だとしたらそのまま1億2千万ですよ。だけど標準的にいうと1両7万円、安い時だと4万円っていう説もある。何しろ300年近く続きましたから、貨幣価値もいろいろ変わります。7万円だとすると8600万円くらいですか。

40年ぶりに見られた
古楽面に感動

ここからは浅草神社の社宝は何があるのかっていう話ですな。社報じゃないですよ、神社の宝ですよ。

まず古楽面というのがあります。いろいろあるわけですが、画像を出してみます？これが翁太夫の面(図2)。毎年6月15日に別のお祭りをやってるんですけど、その中でびんざさら舞や猿田彦の舞なんてのもあるんです。さっきのこれは剣の舞(図3)、おかめの舞(図4)に使われた面です。それから鬼の面が出ましたよね(図5)。これは流鏝馬が行なわれるんですよ。馬に乗っ

図2：翁太夫の面



図3：剣の舞に使ったと思われる面



図4：おかめの面



図5：鬼の面



かって弓弾くやつね。浅草寺の本堂を右回りに2周してね、その後にはわーっと走ってきて、2mくらいの高さにプラカードみたいなのがあってね、そこに「鬼」って書いてあって、その脇についているお面ですね。それを射て、矢を拾った人が縁起がいいっていうんで、拾うのが大変だったみたい。あとそっちの方の、剣の舞か幣束の舞みたいのがあるんですけど、顔からすると剣の舞じゃねえかって言われてます。

これは多分、仲知の面です(図6)。これ、お兄ちゃんの方、浜成の面です(図7)。お兄ちゃんっぽい顔してるでしょ、おっとりして。こちらは竹成の面(図8)。やっぱり弟ですよ、この面を見ると。この古楽面について、本当にあるのかよという人がいますが、あります。僕、見ましたから。二十歳になってなかったかな。第1回浅草今昔展の時に僕はこれを見てるんです。それからずーと出てこなかったんです。でも火事にもなっていないし、盗難に遭ったって話も聞いてないから、あるはずなんです。

それでこないだ、本堂落慶50周年の時に(2008年)、江戸博で浅草今昔展というのをやって、「とにかくあるはずだ、これを出さなきゃ意味がないだろう、絶対に出せ」と僕は言ったんですね。神社は鍵が壊れて開かないんですって言って、なんとか直せよっていうんだけど、勝手に直せな

しいですね、ああいうのは。元に復元できる鍵が見つからないと壊せないらしいんですよ。それでどうとう今昔展に間に合わなかったんですよ。ところが今昔展も終わりに間近っていう時に、「荒井さん、開きましたよ」って。ご覧に入られますというんで、私行きました。この古楽面の写真は僕が見せてもらった時に撮ったものです。感動しましたよ。私が約40年も前に見たのはこれだったのかと。ちょっと触っちゃいましたけどね。触っちゃいけねえんだらうけど。ええ、嬉しかったです。私が見たんですから、見た本人が言うことほど正しいことは無いんだよね。実際にあります。

仲知の像、家康の像 私も見てない社宝たち



その他に、扉を開けたところにすごいのがあったんです。これは私もまだ見てないんだけど、見た人たちをみんな知ってます。亡くなっちゃった方ですけどね。『浅草寺史談抄』という本を出した網野宥俊先生、見ているんですね。それから今の浅草寺の貫主、清水谷孝尚大僧正(当時、2014年逝去)のお父さんが大僧正だった時、開けてもらって中を見てます。その中に何かがあるかっていうと、仲知の像があるんですね。

仲知はさっき言ったように出家したんで僧像で、これは立像だそうです。僕は見て

ないから「そうです」としか言えません。丈が63.4cm、二尺一寸ということですね。総体墨グロ。顔も胴体も全て黒、真っ黒なんです。目だけ玉眼。玉眼ってわかる？目のように見える玉が入っている。真っ暗なところで見ると目だけがパッと光ってる、ちょっと怖いと思いますけど。それで口にだけ紅が差してある。やや開いて笑っているようである。台座は色鮮やかに彩色されている、って書いてあります。

で、その左手に徳川家康公の東帯坐像。東帯ってわかりますよね、こうやって御幣を持っていかめしい格好して。家康が40歳の頃の像って言われています。これは浅草に東照宮があったからです。今の二天門、随神門は東照宮に行くための門で、あれをくぐって浅草寺を横切って東照宮に行ってたわけですからね。2回の火事で東照宮がなくなっちゃって、その後合祀されたんだらうというふうに使われています。

それから仲知の右手の間には黒塗りの大きなお厨子があり、その中の右側が竹成、これは烏帽子を被っているそうです。74.85cm。2尺4寸7分。ちょっと仲知より大きめですね。総体墨グロ塗り、唇はやはり紅を差しているそうです。しかし玉眼ではない。眉も釣り眉で口は真一文字。結んでいるんですね。左側に浜成の像。烏帽子姿です。こっちは口を開いているのだそうです。考えてみれば仁王様もあうんの形がありますから、浜成・竹成もあうんに分けたのかなと。それから浜成は腕を出して、弟の竹成は袖の中に入っているそうです。かなり詳しく記録していますね。それで浜成の左には2尺あまりの大黒天が安置されていて、この中で大黒天が一番古いんだそうです。

余談ですが、大黒様というのはあの柔らかな顔になったのは日本に来てからですよ。あれ、向こう(インド)にあった頃はもっと怖い顔をしてるんですよ。怖い顔をして人を諷めるところがあって、日本の大黒様だ

けが柔和だそうですよ。

で、前の御社殿は焼けているんで、大部分は慶安以降の像だろうと考えられているわけですね。もし慶安以前の像があるとしたら大黒天だけで。これをなんとか見ることが出来ないのって禰宜さんに言ってるんですけど、「ご覧になった張本人、亡くなってるんですよ。だから荒井さんにもお見せしないんですよ」って。人の健康を気遣っているように言っているけど、ただ見せたくないだけかもしれないけど(笑)。

そんなことで、僕はいまだに中のものは古楽面しか見せてもらっていません。だけど、こないだ行ってきた時、古楽面だけは飾ってありましたよ。浅草神社の脇にいろいろなことができる新しい建物ができて、その中の展示コーナーに飾ってあるんです。知り合いなんか浅草神社で結婚式をやりますと、親族はみんな、あの中に入れますから。親戚が結婚する時は「浅草神社でやりなさい」って言うと、みなさんも見られます(笑)。

庶民から期待され 上からは押さえつけられ



まだあるよね、時間？ 神事にはですよ、難しい問題がいくつもありまして。お祭りをやるにしても何をやるにしても大切な、田村八太夫という人が出てくるんです。関東神事舞頭といって、神事の踊りの頭。どこの神社もすべてのことに田村八太夫さんが出てくるんです。この人の弟子の人たちもいろいろな形で関わるんで、当時はなかなか一朝一夕に新しいことができなかったみたいですね。

この街がどんどん華やかになって、浅草神社も華やかになっていく。すると地元の人達にしてみれば大きな期待があるわけです。もっとすごいことをやるんじゃないか、いろいろなことができるんじゃないか。しかし一方では、さっき言った

図6：仲知の面



図7：兄・浜成の面



図8：弟・竹成の面





図9：現在の二天門

ようなところから「神事っていうのはこういうもんです！」って押さえつけられる。今で言うと神社庁みたいなもんですな。

神社庁から言えばですよ、浅草神社なんていうのは格が低くなっちゃうんですよ。天照大神とかを祀ってる方がすごいんですね。浅草神社が祀っているのは人間ですからね。

そういう意味で制約を受けやすい神社でもあるんです。制約が多い神社でありながら、江戸中の人々が応援しているっていうか。ここに来れば何か華やかなことが期待できると。浅草寺とか浅草神社っていうのは人々の期待度が大変高い場所なわけです。

新しい舞を作りたいけどいろいろ大変です

浅草寺にはいろいろな寺舞がありますね。昔の資料で見ると、今の白鷺の舞なんていうのは昔の浅草寺舞の中にもあるんです。金龍の舞は昭和の本堂が出来てから作った舞でありますし、福寿の舞というのは元々といえば猿若三座の開幕前に踊られた舞、確か市村座じゃなかったかな。

対して三社様の場合はびんざさら舞しかない。どうにか増やしたいなって思うんですけど、これも大変なんですよ。例えばお能絡みでやろうとすると、お神楽の装束っていうのはものすごく高いらしいんですね。そうい

うのは援助はなかなか受けづらいですね。すると、さっきの古楽面が使えるだろうと考えますが、あの古楽面は神楽でそのまま使える作りになっていないそうです。目のところが合わないし、ずれやすいので、今、神楽をやるには適さないそうです。

本来あったほうがいいものとしては、漁業の舞もあったほうがいい。ね、引網の舞を作れて僕は言ってるわけです。網を引いて、どんどん引いてくると観音様が現れる。そんな舞があると、田楽舞であるびんざさら舞と一組になって、浅草神社らしい舞になるんじゃないかと考えるんですが。

援助を受けるのって大変です。前の二天門を知っている方はご存知だと思うんですけど、だいぶ色合いが違ってきますな。重要文化財ですからね。これが出来た当初に戻すならお金出しますって国がいうんです。だから随神門時代の塗り方に変わってるんですね(図9)。まあ、そういうのは仕方ないことみたいです。

観音様の裏側にある小さな裏観音

そして、さっきのびんざさらの舞の行列の中にですね、槍持童子っていうのが出てくるんです。山の宿ってわかります？ 花川戸の辺りですね。それから材木町、雷門郵便局や駒形堂のある辺りですね。この辺りから10歳前後の子供が5名ずつ選ばれて、10名が槍持童子として三社様のところに出るんです。見るとわかるんですが、どうやら槍じゃないんですよ。先が鎌のようになっていて、草刈童子だということになるんですね。10人の子供が出てきて草刈りをすると、まさにこれはびんざさら舞の原点ですよ。ですからびんざさらやあかざの草堂っていうのが、神社やこの土地にとってどれだけ大切かということですよ。

それから戦争の時に燃えたのが、神輿蔵と本堂、五重塔、今で言う宝蔵門、昔の仁王門

も燃えちゃったわけです。燃え残ったのが、今の二天門と浅草神社の御社殿だけなんです。で、浅草寺はご本尊は燃えなかったんです。両脇の天水桶の中にご本尊を入れて、土やなんかを埋めて、本堂の真下3mのところに埋めといた。だから観音様は燃えないで済んだんですね。そりゃ良かったですけどね。

浅草寺の内陣をずっと、観音様の後ろに行くと、もう一つ小さな観音様があるんです。これを俗に裏観音というんですけど、どけたところに鍵があります。その鍵を開けるとお厨子の裏側から観音様を逃がすことができるようになっています。その時に鍵がないなんてことになったら大変なんでしょうけど。だから浅草神社の社宝も埋めるとかしてもらえれば良かったんですけども。今は像と古楽面だけが残っているわけです。

他には聞かないしめ縄の引っ張りっこ

あと6月15日のお祭りというのを先ほどチラッと言いましたが、そこでもう一つ言い忘れてた。言い忘れるの多いんだ、最近。その時にしめ縄があるんです。さっき言った田村八太夫の配下の人がですね、馬に乗って鳥居をくぐって流鏝馬をやるんです。鬼の面を被ったのが青竹のところに鬼と書いたのを持って、それを射ったりする。それで全て終了した後に、拜殿に取り付けられているしめ縄をですよ、奪い合う行事があったんです。矢を数本放って奪い合うのも見ものだったらしいんですけど、しめ縄も奪い合ったんです。日本全国探してみても、しめ縄の引っ張りっこかね、あんまりないと思うんですけど。

三社様がどれだけすごかったかっていうと、邦楽の世界です。三社様を扱ったもので一番有名なのは「清元三社祭」という清元の踊りです。三世桜田治助の作でいうと「三世相錦繡文章」というのがあるんです。通称「おその」「ろくぎ」というものなんですけどね。他にもまだまだありまして、いろんな

人たちに広く愛されていないと、ここまで邦楽の世界には出てきませんよね。庶民の神社、浅草寺についても庶民の寺ということでしょうね。とにかく境目がないんですね。お寺でよく、門を閉めると全部が閉まっちゃって、中に入れなくなったりするけど、ここは大丈夫。人が出入り自由な開放的な寺ということで。浅草神社は元が漁師だということもありますしね。非常に人々に親しまれ、愛されてきた神社とお寺だといえると思います。

えー、船渡御の話が本当は一杯あって、来月するんですけど。庶民の話から執行する側の話、あるいは歴史の話、全部言っていくと非常に多すぎるんです。江戸のお祭りを全部、よそのまで話が逸れるくらい多いんで、来月、さあ1時間半でしゃべれるか。

最後にちょっと言いますと、浅草神社の巴紋というのは、玉の部分が変わりと小さめなんです(図10)。大きい巴で書く人もよくいますが、もう少しスマートな巴です。かといって水が流れてるようにぐるぐるしてる、水巴とも違う。巴の形自体も神社によって全部違って、僕は三社様の巴っていうのは好きな形です。今、賽銭箱でも使ってるかな？

神社に残っている古い資料を見ないとわからないことが一杯あります。資料、貸して…くれないでしょうね(笑)。貸してくれると一番いいだけだね。

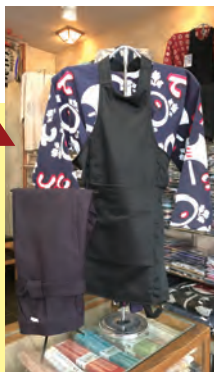


図10：浅草神社巴紋

ウチのイチオシ!

めうがや(みょうがや)

ストレッチ腹掛・股引



お店の紹介は P.28

地図 P.16-C3

電 03-3841-6440

住 台東区浅草
2-27-12

営 10:00~19:00

休 水曜日

<http://www.myougaya.com/>



1867(慶応3)年に暖簾分けで浅草に開業した足袋と祭用品の専門店。イチオシは「身体に合ったものをカッコよく着ていただきたい」が信条の店主・上田進さんが「ピッタリ着ると動きづらい」「しゃがめない」との声に応じて始めた商品。見た目のシルエットが美しい上に動きも楽で、座ることが多いお客様やお子さんのいるお客様を中心に好評とのこと。色は紺と黒の2種類、95%コットンで通気性にも優れています。近づいてきた三社祭をはじめ、今年のお祭りはこれでピシッと粋に決めたいですね!

蔵

田村牛(但馬産A5)の盛り合わせ



日本の味にこだわった炭火焼会席の店が創業25年を迎えました。中でも今回イチオシするメニューは「ヒレ、サーロイン、リブ、肩ロースが2枚ずつ入った自信の一品です」と店主の雑賀昭裕さん。同店では特選和牛を使った焼物のコース、新鮮な魚介類を味わえるコースの他に単品料理も豊富に用意しています。「テーブル炉を囲んで、四季折々の旬の食材で会席を楽しんでいただけます。おもてなしの心を大切に、心を尽くしてまいる所存でございます。どうぞ、最高のときをお楽しみ下さいませ。」

お店の紹介は P.19

地図 P.14-B2

電 03-3847-1129

営 11:30~22:00

住 台東区浅草1-30-10

休 無休

<http://asa-kusa.jp/>

熊野屋

たたみいわし



春・夏・秋は鯛の稚魚・しらすが美味しい季節。それを畳のようにのせて、干して四角くまとめた物が「たたみいわし」です。「江戸時代、歌舞伎役者などの通な人が、よく朝食のおかずとして召し上がっていたようです。軽くあぶってお醤油につけて食べると美味しいですよ」と話すのは、女将の東瑞紀さん。中でも静岡県用宗のたたみいわしは、「都内でも熊野屋さんしか売ってないですね」とお客様から言われることが多いそう。通の味を、皆さんの食卓にも載せてみてはいかが?

お店の紹介は P.24

地図 P.14-C1

電 03-3841-8089

営 10:00~17:00

住 台東区浅草1-19-10

休 木曜日

<http://www.asakusa.gr.jp/shop/kumanoya.html>

すずや

舞台用刀



舞踊や演劇の小道具を扱うすずやでの注目は意外にも“刀”。大河ドラマなどの影響で「刀女子」が現れた他、海外からの観光客にも人気だそうです。「武将の名前だけでなく、刀の名前まで知っている方もおり、刀の説明をすると大変喜ばれます」と店主の鈴木宏明さん。ちなみに写真の刀は上から前田慶次、島津斉彬、石田三成のもの。他にも伊達政宗、坂本龍馬、西郷隆盛らも人気どころです。「刀以外にも海外へのお土産に向けた和のものがたくさんありますので、ぜひお立ち寄り下さい。」

お店の紹介は P.28

地図 P.16-C2

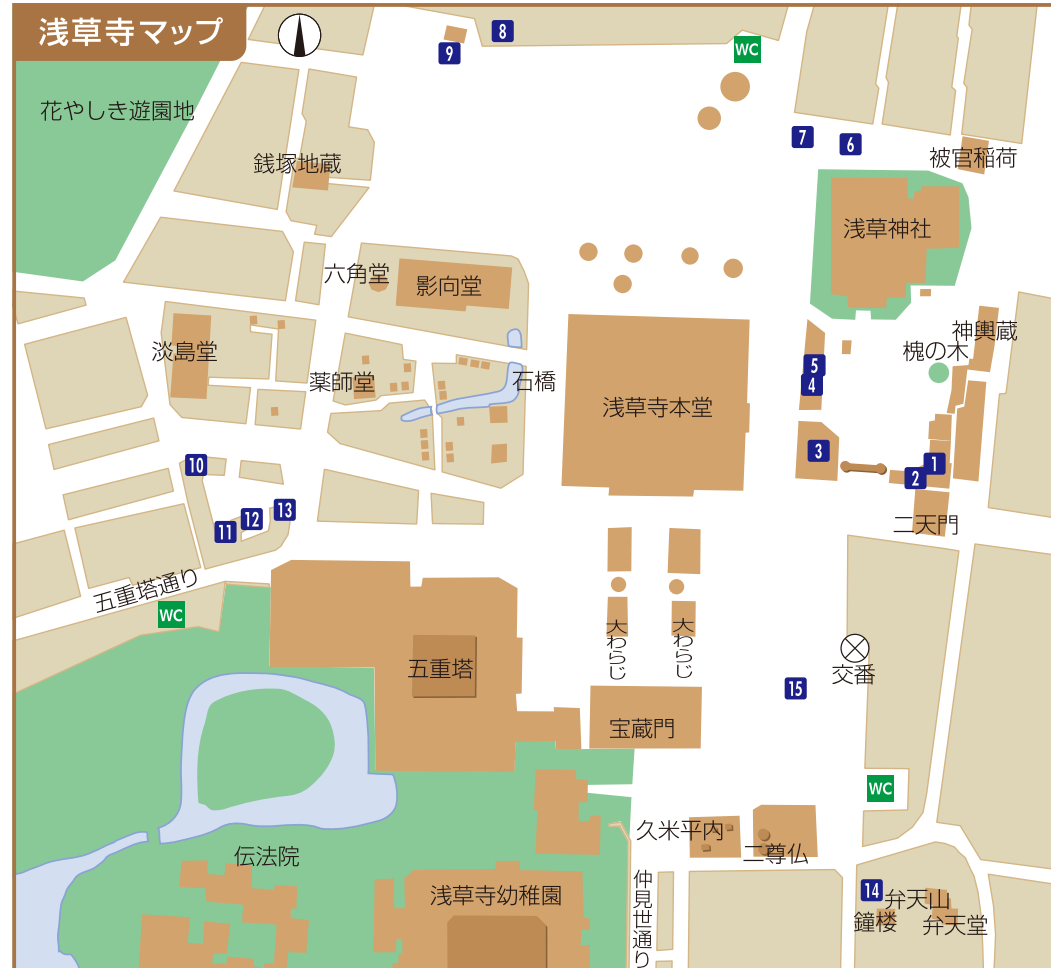
電 03-3844-3798

営 10:00~18:00

住 台東区浅草2-7-13

休 火曜日

<http://www.asakusasuzuya.co.jp/matsuri.html>



浅草寺境内石碑ガイド 浅草寺境内の主だった句碑・顕彰碑

- 1 川口松太郎の句碑**
「生きるということは、むずかしき、夜寒かな」と刻む。
- 2 久保田万太郎の句碑**
「竹馬やいろはにほへとちりちりに」と刻む。
- 3 市川猿翁の句碑**
「まだ身にそはず衣がえ」という三代目市川猿助の句を刻む。
- 4 河竹黙阿弥顕彰碑**
歌舞伎狂言作者・河竹黙阿弥を顕彰して、台東区が建立した。
- 5 中村吉右衛門の句碑**
「女房も同じ氏子や除夜詣」と刻む。
- 6 並木五瓶の句碑**
「月花のたわみころや雪の竹」と刻む。
- 7 山東京伝机塚の碑**
江戸時代後期の戯作者・山東京伝の愛用した文机が埋められた上に建てられたとされる碑。
- 8 釘供養碑**
- 9 団十郎「暫」の像**
九代目市川團十郎の歌舞伎十八番「暫」の像。
- 10 映画弁士塚**
無声映画時代の名弁士たちを記念して建立。
- 11 半七塚の碑**
捕り物小説の生みの親である岡本綺堂を記念して建立。
- 12 三匠の句碑**
宗因・芭蕉・其角という三人の佳句を刻む。
- 13 正岡子規句碑**
「観音で雨に逢いけり花盛」と刻む。
- 14 芭蕉像と句碑**
「くわんをんのいらか見やりつ花の雲」の句を上部に、下部に松尾芭蕉の座像を刻む。
- 15 旧五重塔跡碑**

浅草中央エリア

●…食べる ●…買う ●…その他



中央部会員店

- 1 神谷バー
- 2 雷門 三定
- 3 もんじゃ こばやし
- 4 浅草うまいもん あづま
- 5 かと里
- 6 名代らーめん 与ろみ屋
- 7 浅草 鮎よしだ
- 8 釜めし 麻鳥
- 9 炭火会席 蔵
- 10 お好み焼き 一丁目
- 11 和風居酒屋 魚菜
- 12 天ぷら 葵丸進
- 13 三角
- 15 喫茶クラウン
- 16 鉢の木
- 17 尾張屋
- 18 弁天山 美家古寿司
- 35 手焼きせんべい 和泉屋本店
- 36 手焼きせんべい 和泉屋観音通り店
- 37 浅草きびだんご あづま
- 38 諸国名産珍味 熊野屋
- 39 おもちゃのサワダ
- 40 婦人・子供服 東京モード
- 41 組紐 桐生堂
- 43 手焼きせんべい 和泉屋仲見世店
- 44 てぬぐい ふじ屋
- 45 あげまんじゅう 浅草九重
- 46 常盤堂雷おこし本舗
- 47 刃物 かね惣
- 48 舞扇 文扇堂雷門店
- 49 舞扇 文扇堂仲見世店
- 50 ミドリ屋
- 51 毛皮・婦人服 ミツ福ハシモト
- 52 よのや櫛舗
- 53 よ兵衛
- 54 和装履物 浅草辻屋本店
- 55 浅草の保健室ネオ
- 56 江戸金銀工芸もり銀
- 57 コマチヘア
- 73 村石電気工事

浅草北部エリア

●…食べる ●…買う



北部会員店

- 19 和風れすとらん若
- 20 レストランにいだもおれ
- 21 料亭 都鳥
- 22 すし処 清司
- 25 料亭 浅草田甫 草津亭
- 58 祭礼用具 宮本卯之助商店本店
- 59 株式会社製菓川喜多

山谷堀



山谷堀はかつての吉原への道筋の一つ。柳橋で猪牙船を仕立てたお大尺は、隅田川を上って今戸橋から山谷堀を抜けて吉原へ通った。現在、堀は埋め立てられたが、堀端の桜は当時の名残を残し、今日も桜の名所として知られている。

浅草富士浅間神社



毎年7月1日の富士の山開きで有名な浅間神社(せんげんじんじゃ)は、地元の人から「お富士さん」の愛称で親しまれている。江戸時代に各地に広がった富士浅間神社の信仰だが、浅草富士浅間神社は静岡県富士市から元禄年間に分社したもの。本殿外観は平成9年から10年の改修工事によって漆喰塗りが施されているが、内部には明治11年に建築された土蔵造りが残されている。毎年5月最終土日と6月最終土日に植木市が開かれ、浅草の年中行事として賑わいを見せる。

待乳山聖天



待乳山聖天(まつちやましようてん)は、正しくは待乳山本龍院という。境内のいたるところに大根と巾着を組み合わせた比翼紋があるが、これは健康増進などを祈願する聖天信仰の現れとされる。毎年恒例の大根まつりには多くの信仰者が訪れる。昔は待乳山の手前に隅田川が流れ、東都随一を誇る眺望の名所として知られた。現在はその眺めは見られないが、江戸末期に作られた長さ25メートルに及ぶ築地塀などが往時をしのばせる。

浅草西部エリア

●…食べる ●…買う



西部会員店

- 23 常寿司
- 24 天麩羅 中清
- 26 居酒屋 TAKEYA
- 27 すき焼 浅草今半
- 28 どぜう飯田屋
- 29 中国小菜 龍園
- 57 コマチヘア
- 60 デイジー
- 61 渡辺眼鏡商店
- 62 演劇・舞踊小道具 すずや
- 63 足袋・祭用品 めうかや
- 64 祭礼用具 宮本卯之助商店西浅草店
- 65 ヤマダの家具
- 66 今昔きもの籠巳(胡蝶)
- 67 まつもと履物店

江戸下町伝統工芸館



ひさご通り内にある洒落たたずまいの江戸下町伝統工芸館は、台東区の手仕事に生きる職人さんの技術・技法を紹介する文化施設。実演のスケジュールは、ホームページをご覧ください。
<http://www.city.taito.lg.jp/index/kurashi/shigoto/jibasangyo/kogeikan/index.html>

久保田万太郎誕生の地



久保田万太郎は、明治22年11月7日にこの地に生まれ、大正3年慶応義塾大学文科を卒業するまでの26年間在住。昭和38年5月6日に永眠するまで、明治・大正・昭和の三代に亘り、下町の義理と人情を描写した小説・戯曲等を発表し、文学・演劇界に多大な功績を残した。

浅草南部エリア

●…食べる ●…買う ●…その他



南部会員店

- 30 シーフードレストラン 月見草
- 31 ロシア料理 マノス
- 32 うなぎ 初小川
- 33 茶寮 一松
- 34 三代目魚熊
- 68 和菓子 龍昇亭 西むら
- 69 市川とうふ店
- 70 木彫 宗舟
- 71 書道用品 宝研堂
- 72 ゴルフ グリーンジャケット
- 74 ホテルサンルート浅草

駒形堂



駒形堂(こまんどう)は、浅草寺のご本尊が隅田川から示現され、上陸された地に建てられたお堂で、浅草寺の発祥の地ともいえる。現在は、ご本尊として馬頭観音が祀られている。

岡崎屋勘六(勘亭流元祖)の墓



西浅草一丁目にある清光寺の境内に、勘亭流の元祖といわれる岡崎屋勘六(文化2年2月3日に59歳で没)の墓がある。勘六は、延享3年に江戸に生まれ、日本橋で書道塾を開いていた。号を勘亭と狂言、安永8年に中村座新春狂言の看板を書いたことが評判を呼び、芝居文字として勘亭の書いた文字(勘亭流)が主流となったという。

はなし塚



田原町駅近くの本法寺境内にある落語ゆかりの珍しい石碑。大戦中に各種芸能団体が演題を自粛した際、落語界でも演題の花柳界・酒・妾などに関する落語53種を禁演落語とした。はなし塚は、中に含まれた名作と先輩の霊を弔うために建立され、この塚の下には禁演落語の台本が納められた。戦後の昭和21年9月には、塚の前で禁演落語復活祭が行われた。

浅草槐の会・会員店紹介

1 神谷バー (雷門通り)
地図内番号 店名 通り名

ビアホール、レストラン、割烹 地図 P.14・C1
分類 地図掲載ページ

1 神谷バー (雷門通り)

ビアホール、レストラン、割烹 地図 P.14・C1



明治13年創業、明治45年「神谷バー」と屋号を改めた日本で最初のバー。名物デンキبرانとともに皆様にご愛顧頂いております。お一人様には1階が、グループのお客様には2階レストラン、3階割烹がお勧めです。

電 03-3841-5400
住 台東区浅草1-1-1
営 11:30~22:00 (L.O 21:30)
休 火曜日

<http://www.kamiya-bar.com/>



2 雷門三定 (雷門通り)

天ぷら・和食 地図 P.14・C1



創業以来江戸前天ぶらの味を守り百六十余年。胡麻のきいた黒っぽい天ぷらですが、あと味が軽いのが身上です。店も仲見世の入口にあり、ご散策に大変便利。季節ごと変わる旬の天ぷらに江戸の粋を御堪能下さい。

電 03-3841-3200
住 台東区浅草1-2-2
営 11:30~22:00 (L.O 21:30)
休 無休

<http://www.tempura-sansada.co.jp>



3 こぼやし (浅草メトロ通り)

お好み焼き・もんじゃ 地図 P.14・C2



当店が自信を持ってお勧めするオリジナル新商品「焼もんじゃ」。お好み焼き?もんじゃ?焼そば?独特な食感を是非お試し下さい。その他、ボリューム満点、豊富なメニューを取り揃えてお待ちしております。

電 03-3847-6733
住 台東区浅草1-34-4
営 平日11:30~23:00
土日祝11:30~22:00
休 無休

<http://www.monja.co.jp/>



4 浅草うまいもん あづま (新仲見世通り)

和食・寿司・甘味 地図 P.14・B2



なつかしい味の下町料理(和食、江戸前寿司、オムライス、自家製甘味...)を是非お楽しみ下さい。二階の掘りごたつ席での御宴会も大好評です。

電 03-3841-0190
住 台東区浅草1-32-1
営 平日11:00~21:00
土日祝10:30~21:00
休 無休

<http://aduma.tokyo>



5 かとり (新仲見世通り)

食処・茶処 地図 P.14・C2



トレードマークのダイナミックな滝を眺めつつ2階へ上がると、和モダンな空間。みつ豆や白玉、おしるこ、パフェなど、種類豊富な甘味をご用意しております。浅草散策のひと時をお過ごしください。

電 03-3841-7400
住 台東区浅草1-1-11(2F)
営 11:00~20:00 (L.O 19:30)
休 木曜日

<http://asakusa-ryoin.jp/katori/>



6 名代らーめん 与ろる屋 (伝法院通り)

らーめん 地図 P.14・B2



醤油らーめん発祥の地、浅草昭和30年代に店主がここで毎日食べていた日本蕎麦屋のらーめんを再現しました。煮干・かつを節のかおり漂う昔ながらの和風らーめんを下町の風情と共に楽しんで下さい。

電 03-3845-4618
住 台東区浅草1-36-7
営 11:00~20:30
休 無休

<http://www.yoroiya.jp>



7 浅草 鮪よしだ (馬道通り)

寿司 地図 P.14・C3



「こだわらないのにこだわりたい鮪づくり」日本の旬を浅草で...全国津々浦々の旨い魚にこだわり、江戸前の仕事(煮蛤、鮪のづけ等)にこだわり、そしてお店よりお客様にこだわって頂きたい楽しい鮪屋です。

電 03-3845-7557
住 台東区浅草2-1-14
営 11:30~14:00
17:00~24:00

休 日曜日

<http://www.asakusa.gr.jp/shop/yoshida.html>



8 麻鳥 (公会堂横通り)

釜めし・串焼き 地図 P.14・B2



新潟県下田町より直送の100%コシカキを新鮮な素材と共に一釜づつ心を込めて炊き上げます。地鶏串焼も福島の伊達鶏を紀州備長炭で丁寧に焼き上げます。大切な方々のおもてなしにどうぞごゆっくり御賞味下さい。

電 03-3844-8527
住 台東区浅草1-31-2
営 11:00~22:00 (L.O 21:00)
休 無休

<http://asa-kusa.jp/asadori>



9 蔵 (公会堂横通り)

炭火焼会席 地図 P.14・B2



旬の素材を使ったお勧めの炭火焼会席コース、牛肉は和牛の特選焼物コース、アラカルトでは三陸産の鮑や伊勢海老などもございます。季節によって変わる焼魚も絶品です。焼物は全て炭火焼きで召し上がって頂きます。

電 03-3847-1129
住 台東区浅草1-30-10
営 11:30~23:00 (L.O 21:00)
休 無休

<http://asa-kusa.jp/kura>



10 一丁目 (雷門柳小路)

お好み焼き 地図 P.14・A1



新しい味の発見です!お好み焼きをわさび醤油・ボン酢・抹茶塩などお召し上がり下さい。もちろんソースも自家製ですから食べ比べてみては? 当店の材料は全て純国産品です。

電 03-3845-7566
住 台東区浅草1-21-2
営 火水木12:00~15:00/17:00~22:00
金17:00~22:00
土日祝12:00~21:00
休 月曜日ただし祭日の場合は火曜日

<http://www.asakusa.gr.jp/shop/icchome.html>



11 魚菜 (雷門柳小路)

和洋居酒屋風レストラン 地図 P.14・A1



魚菜ではテレビでも紹介された三陸産のアワビの肝ソース焼きが大人気です。一品およびコース料理もごございます。大小のご予約を承っております。今話題の焼酎、黒糖・芋・麦・米も取り揃えております。

電 03-3842-1919
住 台東区浅草1-17-9
営 平日17:00~23:30
日祝日12:00~22:30
休 無休

<http://www.asakusa.gr.jp/shop/uosai.html>



12 葵丸進 (雷門通り)

天麩羅、季節料理、寿司 地図 P.14-A1



「旬の肴に天麩羅でちよいと一杯」季節料理に天丼・天麩羅、お椅子席・お座敷席・個室席。お好みのスタイルでおくつろぎください。浅草に行きつけの天麩羅屋はいかがですか。

電 03-3841-0110
住 台東区浅草1-4-4
営 11:00~21:00(L020:00)
休 第2・4日曜日
(祝日の場合は翌日)
http://www.aoi-marushin.co.jp/



13 三角 (浅草中央通り)

ふぐ 地図 P.14-A1



明治35年(1902)の創業以来、日本料理店として気取らず下町の味を守りたいと努力しております。ふぐさし、ふぐちり、煮凍り、唐揚、ひれ酒、白子、特に11月頃からの白子焼、白子刺身は大人気の逸品です。是非一度ご賞味下さい。

電 03-3841-7650
住 台東区浅草1-20-7
営 13:00~22:00(L021:00)
休 水曜日、正月、お盆は不定休あり
http://www.asakusa-fugu.com/sankaku.htm



15 喫茶クラウン (観音通り)

喫茶・軽食 地図 P.14-C1



浅草駅からすぐの昔ながらの喫茶店。真心こめて淹れたコーヒーを是非ご賞味ください。モーニングセットはトーストセットとホットケーキセットの2種類。甘くてフワフワのホットケーキは人気の一品です。

電 03-3841-7500
住 台東区浅草1-2-13
営 8:00~18:30
休 火曜日(祝日の場合は営業)
http://www.asakusa.gr.jp/shop/crown.html



16 鉢の木 (公会堂東通り)

甘味・喫茶 地図 P.14-C2



浅草寺に詣で、心躍る浅草の賑わいを巡る。熱気に煽られしほしの休息。あんみつ、おしろい、いそべ巻き…。甘味を口にホッとひと息。夏のかき氷も人気です。くつろぎの和の空間にお立ち寄りください。

電 03-3843-6755
住 台東区浅草1-34-7
営 11:30~18:00
休 水曜日
http://www.asakusa.gr.jp/shop/hachinoki.html



17 尾張屋

日本そば 地図 P.14-C1



百五十年の長きにわたり、地元浅草の方々、観音様を参拝の皆様にも広く愛されてきた老舗です。店内にある「浅草寺御用達」の看板は、浅草とともに歴史を歩む尾張屋のささやかな誇りです。そば粉は信州産を中心に、最高の国産粉を使用。本かつお節のつゆ、特注の胡麻油で揚げた天ぷらは、コクがあってさっぱりとしたあと味でご好評をいただいています。

電 03-3845-4500
住 台東区浅草1-7-1
営 11:30~20:30
休 日曜日
http://www.asakusa.gr.jp/shop/owariya



18 弁天山 美家古寿司

寿司屋 地図 P.14-C3



創業慶応2年(1866年)。酢飯、仕事を施した寿司ダネ、新鮮な山葵と煮きり醤油、この4つのバランスによって寿司の美味しさを最大限に引き出す。江戸前すしの本来の仕事、にぎり、ツメ、ツケ、酢メ、昆布メなど、古典的技法を今なお頑固に守り続けております。

電 03-3844-0034
住 台東区浅草2-1-16
営 月~土 11:30~14:30(L0 14:00)、17:00~21:00(L0 20:00)
日祝 11:30~18:30(L0 18:00)
休 月、第3日曜日
http://bentenyama-miyakosushi.com



19 和風れすとらん若 (浅草猿若町町会事務所側)

洋食レストラン 地図 P.15



江戸の名残の和風作りのお店で、洋食と色々なお酒をお楽しみください。特製ヒレカツサンドと、のりカツロールはお子様からお年寄りまで喜んで頂けるお土産に大人気です。(不定休の為、必ずお電話で御予約下さい。)

電 03-3876-2500
住 台東区浅草6-20-2
営 17:00~21:00
休 不定休
http://www.asakusa.gr.jp/shop/waka.html



20 にいど・だもおれ (浅草猿若町市村座跡)

レストラン 地図 P.15



昔の市村座の跡にあるお店です。夜は新鮮な魚介類のお料理で(活タラバガニ等)、お仲間だけの空間をお楽しみ下さい。

電 03-3874-7561
住 台東区浅草6-18-13
小竹猿若町レジデンス1階
営 ランチ11:00~14:00、ディナー1日1組予約のみ17:00~22:00
休 日祝、第2・3日曜日
http://www.asakusa.gr.jp/shop/nidodamore.html



21 都鳥 (浅草観音裏)

料亭 地図 P.15



江戸開府四百年、だからこそ江戸の昔を体験してみませんか。花柳界の楽しさをもっと知って頂きたいと、江戸の遊びのコースを考えました。お客様には和服でお越し頂くなど、一緒に趣向をお楽しみませんか。

電 03-3874-2175
住 台東区浅草3-23-10
営 18:00~ 要予約
休 土日祝日
http://asakusa-miyakodori.com



22 すし処 清司 (浅草観音裏)

寿司 地図 P.15



すしは日本の食文化。にぎる人の心がお客様に通ってこそ本物だと思えます。特に江戸前的小肌、蛤、鰯は逸品です。鮓はもちろん本まぐろです。一味も二味も違うお寿司を是非ご賞味くださいませ。

電 03-3872-7275
住 台東区浅草3-22-12
営 月~土 17:00~25:00
祝日 18:00~24:00
休 日曜日
http://www.asakusa.gr.jp/shop/seiji.html



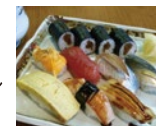
23 常寿司 (たぬき通り)

寿司 地図 P.16-C1



屋台の鮓屋が提供していた昔懐かしい鮓。その味を、今も変わらず作り続けています。肩肘を張らずに、気軽に江戸前寿司を楽しみたい方、お褒め致します。是非お越し下さい。

電 03-3844-9955
住 台東区浅草1-15-7
営 11:30~21:00 休憩なし
休 月曜日
http://www.asakusa.gr.jp/shop/tsuneshushi



24 中清 (オレンジ通り)

天ぷら会席 地図 P.16-C2



数寄屋造りの離れ座敷で昔から変らぬ味の江戸前天麩羅をごゆっくりご賞味下さいませ。

電 03-3841-4015
住 台東区浅草1-39-13
営 平日11:30~14:00、17:00~22:00 土日祝11:30~20:00
休 火曜日、第2、第4日曜日
http://www.nakasei.biz/



25 浅草田圃 草津亭 (観音裏音問通り)

料亭 地図 P.15



明治5年創業、江戸の歴史を今に伝える割烹料亭。この度10月に移転オープンいたしました。カウンター席での季節のおまかせ料理の他、本格会席をご用意しております。浅草芸妓もお待ちしております。

電 03-6802-3091
住 台東区浅草3-18-10
営 11:30~14:30(L.O13:30)
17:30~22:00(L.O20:00)
パ・タイム・21:00~23:00
休 不定休 <http://www.kusatsutei.jp/>

**26 TAKEYA (浅草ひさご通り)**

居酒屋 地図 P.16 - B3



昔からひさご通りは六区興行街から千束吉原に向かう人で賑わう商店街でした。当店はお子様からお年寄りまで、気楽に入れて来て良かったと思われるお店を、従業員一同心がけております。大小予約承ります。

電 03-3841-6555
住 台東区浅草2-25-5
営 平日12:00~23:00
土日12:30~14:00、
17:00~23:00
休 月曜日 <http://www.asakusa.gr.jp/shop/takeya>

**27 浅草今半 (国際通り)**

すき焼、しゃぶしゃぶ、日本料理 地図 P.16 - B2



厳選された黒毛和牛と秘伝の割り下で、焼くように煮るすき焼きが浅草今半流。ランチタイムサービスの「明治すき焼丼」と「ステーキ丼」は、浅草の隠れ銘丼とも…。納得の味をお届けいたします。

電 03-3841-1114
住 台東区西浅草3-1-12
営 11:30~21:30
休 年中無休
<http://www.asakusaimahan.co.jp/>

**28 どぜう飯田屋 (合羽橋本通り)**

どぜう料理 地図 P.16 - B2



磨き込まれた藤敷きに
胡坐をかいて
どぜう鍋
一刻文豪気分です

電 03-3843-0881
住 台東区西浅草3-3-2
営 11:30~21:30(L.O 21:00)
休 水曜日、祝日は前後
振替
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/iidaya.html>

**29 中国小菜 龍圓 (国際通り)**

中華料理 地図 P.16 - B2



心を込めた手造り料理!食で幸福感の味わい、「浅草に来て良かった、また来たい」、これが、龍圓のモットーです。本格中国料理からデザートに至るまで、心を込めて、お出し致します。

電 03-3844-2581
住 台東区西浅草3-1-9
営 平日12:00~14:00、17:30~21:00
日祝12:00~14:00、17:30~20:30
休 月曜日(祝日の場合は火曜日)
<http://www.ryuen1993.com/>

**30 月見草 (浅草並木通り)**

シーフードレストラン 地図 P.17 - C2



魚介類を中心とした旬の食材を取り入れたシーフードレストラン。一番の人気を誇るのは鮑のステーキ、水槽の中で生きているものをすぐに調理し丸ごと一つを鮑の肝で作った自慢のオリジナルソースをかけてどうぞ。

電 03-3841-8949
住 台東区雷門2-11-8
営 12:00~15:00
17:00~22:00(L.O 21:00)
休 無休
<http://asa-kusa.jp/tsukimiso>

**31 マノス**

ロシア風レストラン 地図 P.17 - B2



「ロール・キャベツ?いや!キャベツ・ロールです」。創業以来、作り続けて35年。元祖キャベツ・ロールといえば浅草マノス。料理は良い素材と美味しいものを作るという気持ち!今一度、おた召しあ~れ~!

電 03-3843-8286
住 台東区雷門2-17-4
営 11:30~22:30(L.O 21:00)
ただし平日15:00~16:30準備中
休 火曜日
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/manos>

**32 初小川 (雷門仲通り)**

鰻蒲焼き 地図 P.17 - B2



明治40年の創業以来継ぎ足し使っている辛口のタレを使った鰻は、注文を受けてからさばき、蒸してから焼く。江戸前風七輪の炭で焼いた鰻はムダな脂が落ち、身もふっくらやわらかで上品な味わいです。

電 03-3844-2723
住 台東区雷門2-8-4
営 平日12:00~14:00、17:00~
20:00 日祝17:00~20:00
休 不定休
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/hatsugawa.html>

**33 茶寮 一松 (万太郎橋町)**

会席料理 地図 P.17 - B2



ご宴会に、季節の色で盛り付けされた茶寮一松での会席料理はいかがでしょうか。お昼のミニ会席や料亭ウエディングプランなどもご用意しております。しばし浮世を離れ、浅草ならではの粋なひと時をお楽しみ下さい。

電 03-3841-0333
住 台東区雷門1-15-1
営 11:00~22:30
休 月曜日・お盆・12月は
不定休・年末年始
<http://www.ichimatsu.co.jp>

**34 三代目魚熊**

ふぐ・魚料理 地図 P.17 - B1



魚屋から始まり、皆様に支えられて創業77年。1日も欠かさず築地で魚を手に取り仕入れてしています。魚のことでは妥協致しません。お客様の「旨い」の一言のため、感謝を込めて笑顔あふれる店作り励みます。

電 03-3851-5914
住 台東区蔵前3-20-5
営 17:00~22:30
休 日曜・祭日
<http://uokuma.com>

**35 和泉屋本店 (観音通り)**

あられ、手焼せんべい、おかき 地図 P.14 - C1



良質の食材(もち米・うるち米・醤油・天然塩等)を使った、あられ、手焼せんべい、おかきを製造しています。缶・和紙箱・竹籠の御進物セットが人気です。

電 03-3841-5501
住 台東区浅草1-1-4
営 10:30~19:30
休 木曜日
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/izumiya.html>

**36 和泉屋観音通り店 (観音通り)**

あられ、手焼せんべい、おかき 地図 P.14 - C1



このところ、堅焼の人气が復活しています。天日干しの「厚焼せんべい」。もち米の「風神雷神」、堅焼の定番げんこつ等、リピーターのお客様が増えています。

電 03-3841-8385
住 台東区浅草1-1-6
営 10:30~19:30
休 木曜日
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/izumiya.html>



37 浅草きびだんご あづま (仲見世通り)

きびだんご 地図 P.14 - B1



江戸時代、観音様の参道・仲見世で繁昌した門前のきびだんごを再現しております。粋なにいさんと下町娘たちのきびだんご作りの実演もご覧下さい。夏の冷し抹茶や冬の甘酒も大評判です。

電 03-3843-0190
住 台東区浅草1-18-1
営 9:00~19:00
休 無休



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/kibidango.html>

38 熊野屋 (観音通り)

諸国名産珍珠 地図 P.14 - C1



ちょっと昔、よく食べたあの口が曲がるくらい塩辛い紅サケの切身、お茶漬け、お酒にぴったりの塩干ダラ、本場新島の本乾クサヤの干物等々が下町浅草でお求めいただけます。本場大分産の肉厚シタケも好評です。

電 03-3841-8089
住 台東区浅草1-19-10
営 10:00~18:00
休 木曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/kumanoya.html>

39 おもちゃのサワダ (新仲見世通り)

玩具一般 地図 P.14 - C2



昔ながらのオモチャヤです。ビー玉・面子・ペーゴマから、今話題のオモチャまで、品数豊富に取り揃えております。お値段もお勉強させて頂いております。皆様の是非の御来店をお待ちしております。

電 03-3842-7367
住 台東区浅草1-33-3
営 9:30~19:00
休 水曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/omocha.html>

40 東京モード (新仲見世通り)

婦人・子供服 地図 P.14 - B2



婦人服・子供服から舞台衣装・ダンスウェアまで、最新デザインの商品をお手頃な価格に取り揃えております。お値段はサイズに優しい下町価格。普段のオシャレに、ダンスやカラオケの発表会に、ぜひご利用下さい!

電 03-3841-3915
住 台東区浅草1-32-2
営 10:00~19:30
休 無休



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/tokyomode.html>

41 桐生堂 (浅草メトロ通り)

組紐、和雑貨 地図 P.14 - B2



当店は、商品も手作りですが内装も手作りで、材木を切ったりニスを塗ったり、気ままに楽しんでいます。竹を買って店の外側に付けました。下に風知草を置いて、なかなか良く出来たと思っています。

電 03-3847-2680
住 台東区浅草1-32-12
営 10:30~19:00
休 無休



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/kiryudo.html>



43 和泉屋仲見世店 (仲見世通り)

あられ、手焼せんべい、おかき 地図 P.14 - B2



約100種類のあられ、手焼せんべい、おかきを販売しています。江戸情緒あふれるパッケージ(江戸童(わらべ)絵・日本人形・雷門)の手土産が人気です。

電 03-3844-2687
住 台東区浅草1-37-1
営 10:30~19:30
休 木曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/izumiya.html>

44 ふじ屋 (弁天山側)

てぬぐい 地図 P.14 - B3



四季の草花、歌舞伎、歳時記などのオリジナル染絵でぬぐいを額装したインテリアや、江戸時代より「そめぎれ染布」として暮らしの中で使われてきた江戸小紋などで、てぬぐいを生かした粋な暮らしをお楽しみ下さい。

電 03-3841-2283
住 台東区浅草2-2-15
営 10:00~18:00
休 木曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/fujiya.html>

45 浅草九重 (仲見世通り)

あげまんじゅう 地図 P.14 - B3



「浅草寺から三軒目」浅草九重はあげまんじゅうの実演販売のお店です。国産大豆を原材料とし、最高級のごま油を使用しています。日持ちのするお土産用のラインナップも充実し、国内はもちろんのこと、海外のお客様にも人気です。

電 03-3841-9386
住 台東区浅草2-3-1
営 9:30~19:00頃
休 無休



<http://agemanju.jp>

46 常盤堂雷おこし本舗 (雷門通り)

雷おこしを主とする菓子 地図 P.14 - B1



今も変わらぬ下町ならではの粋や人情にふれあう事の出来る浅草において、下町の心・伝統の味を守り続ける常盤堂。江戸銘菓「雷おこし」家を「おこし」名を「起こす」という縁起の良さから長い間、浅草のお土産として親しまれております。

電 03-3841-5656
住 台東区浅草1-3-2
営 9:00~21:00
休 無休



<http://www.tokiwado.tokyo>

47 かね惣 (雷門柳小路)

刃物 地図 P.14 - B1



プロ仕様から家庭用まで各種取り揃えております。創業(明治6年)以来、伝承されてきた古式鍛錬秘法の切れ味を一度お試し下さい。また、ご婚礼祝い、仏事のお返しなどにもご利用ください。

電 03-3844-1379
住 台東区浅草1-18-12
営 11:00~19:00
休 不定休



<http://www.kanesoh.com>

48 文扇堂雷門店 (雷門柳小路)

舞扇、うちわ等 地図 P.14 - B1



扇専門店として当代で四代。各流派の舞踊家、歌舞伎の役者さん、芸者さんや落語家さんなど多種多様な方にお越し頂いています。普通の扇や木版刷りの祝儀袋、うちわもあるお店です。気楽にお立ち寄りください。

電 03-3841-0088
住 台東区浅草1-20-2
営 10:30~18:00
休 毎月20日過ぎの月曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/bunsendo.html>

49 文扇堂仲見世店 (仲見世通り)

舞扇、うちわ等 地図 P.14・B2



雷門店同様に、古典芸能のプロの方をはじめ多くのお客様に御愛顧頂いております。普通の扇や木版刷りの祝儀袋、うちわなども御用意しておりますので気楽にお立ち寄りください。

電 03-3844-9711
住 台東区浅草1-30-1
営 10:30~18:00
休 毎月20日過ぎの月曜日



http://www.asakusa.gr.jp/shop/bunsendo.html

50 ミドリ屋 (公会堂横通り)

舞踊衣装 地図 P.14・B2



舞踊衣装のことなら当店にお任せ下さい。豊富な品揃えと驚きの低価格で、きっとご希望の品が見つかります。その他、お稽古着・反物も多数取り揃えておりますので、是非一度お立ち寄り下さい。

電 03-3843-1441
住 台東区浅草1-30-11
営 10:30~18:00
休 毎月第2・4火曜日



http://www.asakusa.gr.jp/shop/midoriya.html

51 ミツ福ハシモト (新仲見世通り)

毛皮、革、婦人服 地図 P.14・A2



当社は、大正3年毛皮専門店として浅草千束で創業。昭和20年に現在地に移転し、毛皮を中心に皮革製品、夏は麻・綿素材、冬はシルク・ウール・カシミア等の天然素材を活かした婦人既製服を扱っています。

電 03-3844-3441
住 台東区浅草1-30-6
営 10:30~19:30
休 不定休



http://www.asakusa.gr.jp/shop/hashimoto.html

52 よのや櫛舗 (伝法院通り)

黄楊櫛、黄楊製品 地図 P.14・A2



伝法院通りにあり浅草寺、六区方面から大変に便利です。小店舗ですがつけ櫛の種類も豊富で、また櫛やかんざしの使い方も丁寧にアドバイスさせて頂いております。是非一度御来店下さい。

電 03-3844-1755
住 台東区浅草1-37-10
営 10:30~18:00
休 水曜日



http://www.asakusa.gr.jp/shop/yonoya.html

53 よ兵衛 (仲見世通り裏)

揚餅・お団子 地図 P.14・B3



サクッと軽くお味はしっかり。昔懐かしい母の味「揚餅」を食べていただくため、無駄なものは一切加えず、素材で香ばしい味を再現しています。お味は生醤油やしお、カレー、生醤油唐辛子など6種類。是非ご賞味あれ!

電 03-3841-0868
住 台東区浅草2-2-7
営 9:00~18:00
休 不定休



http://www.agemochi-yohei.com/

54 浅草辻屋本店 (伝法院通り)

和装履物 地図 P.14・B2



浅草花柳界をはじめ、和装にうるさいお客様に愛され育てられて百年目。長く履いても痛くならず疲れない、熟達した職人の技が生きる鼻緒のすげ。「浅草好み」の履物を豊富な品数で取り揃えております。

電 03-3844-1321
住 台東区浅草1-36-8
営 10:00~19:00
休 無休



http://www.getaya.jp/

55 浅草の保健室ネオ (馬道通り)

クスリ 地図 P.14・C3



浅草で創業63年のくすり屋です。一般薬・健康食品・ヒノキ肌粧品など取扱っております。なんでもお気軽にご相談くださいませ。

電 03-3841-5329
住 台東区浅草2-1-15
営 9:30~19:00
土9:30~18:00



休 日曜日
http://www.neo-ph.com

56 江戸金銀工芸もり銀 (オレンジ通り)

銀製品全般 地図 P.14・A2



日本の金銀工芸は西暦600年代より始まり、江戸時代に入って花開きました。現在もその時代からの手法を引き継いで、銀の食器類・アクセサリーetcを自家製作販売をしております。日本の伝統文化を表す品々と自負しております。

電 03-3844-8821
住 台東区浅草1-29-6
営 10:30~18:30
休 無休



http://www.asakusamorigin.com

57 コマチヘア (第一店・新仲見世通り、第二・三店・仲見世通り) かつら・頭飾品 地図 P.14・B2, P.14・B3, P.16・C1



大正14年創業以来、職人氣質の「かつら」づくりに徹しています。日本髪から男女洋かつら、ヘアピース、余興かつら、かんざしまで、豊富に取り揃えております。舞台化粧品も、お気軽にご相談ください。

電 03-3841-8191(第一店)、5523(第二店)
7434(第三店)
住 台東区浅草1-28-3(第一店)、1-31-1(第二店)
2-3-1(第三店)
営 10:30~19:00(第一店)
平日9:30~18:00、土日祝日9:30~19:00(第二店)
9:30~18:00(第三店)
休 無休 http://www.komachi-hair.co.jp/

58 宮本卯之助商店本店 (吉野通り)

太鼓・神輿、祭礼用具 地図 P.15



文久元年(1861年)創業、伝統的な製法を頑なに守り続け、その華麗さ、堅牢さには定評があります。また、邦楽教室を行う「宮本スタジオ」や世界の太鼓資料館「太鼓館」など、様々な活動にも取り組んでいます。

電 03-3873-4155
住 台東区浅草6-1-15
営 9:00~17:00
休 土日祝日



http://www.miyamoto-unosuke.co.jp

59 株式会社製菓川喜多

菓子製造、販売 地図 P.15



弊社は戦後もなく川喜多忠之助により、おこし製造から始まりました。駅、高速SA等でおなじみの「東京サンド」等の問屋様への卸売販売、老舗様のOEM製造を中心としてきましたが、現在では「浅草の菓子屋」になりきろうと、「浅草川喜多」の名前の洋菓子の製造販売に重点を置いております。工場直販です。

電 03-3875-0013
住 台東区浅草5-56-4
営 9:00~17:00
休 日・祝日(土曜日不定休)



http://www.s-kawakita.co.jp

60 デイジー (新仲見世通り)

バッグ、小物 地図 P.16・C1



魅力的な貴女をより輝かせるバックと小物。デイジーはそんな貴女にピッタリカラフルな品揃えで心までウキウキ間違いナシです。オリジナル品を中心としたオサイフや札入れも個性的な貴女にピッタリ特注・別注・修理も大歓迎です。

電 03-3847-8118(FAX共通)
住 台東区浅草1-22-10
営 10:00~19:30
休 不定休 2ヶ月に1回ほど



http://www.asakusa.gr.jp/shop/deiji.html

61 渡辺眼鏡商店 (ためき通り)

めがね 地図 P.16・C1



創業明治20年の眼鏡専門店です。オリジナルフレーム、アンティークフレーム、眼鏡ケース、眼鏡チェーンなど他所には無いものをお探しの方はちょっと覗いてみて下さい。眼鏡修理も承っております。

☎ 03-3841-7466
住 台東区浅草1-16-7
営 09:30~19:00
休 火曜日(祝日の場合は営業)



<http://www.watanabemegane.com>

62 すずや (西参道商店街)

演劇・舞踊小道具 地図 P.16・C2



時代劇や踊りに興味のある方、いろいろな小道具が並んでいます。近くにお出かけの時にはお気軽にお立ち寄り下さい。

☎ 03-3844-3798
住 台東区浅草2-7-13
営 10:00~18:00
休 火曜日



<http://www.asakusasuzuya.co.jp/>

63 めうがや (言問通り)

足袋、祭用品 地図 P.16・C3



“めうがや”と書いて「みょうがや」。旧仮名で“どぜう”を「どじょう」と読むのと同じです。夏に麻足袋、柄足袋も多種揃っています。お祭には、オリジナルの祭用品で粋にキメて下さい。

☎ 03-3841-6440
住 台東区浅草2-27-12
営 10:00~19:00
休 水曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/myogaya>

64 宮本卯之助商店西浅草店 (国際通り)

太鼓・神輿、祭礼用具 地図 P.16・B1



文久元年(1861年)創業、伝統的な製法を頑なに守り続け、その華麗さ、堅牢さには定評があります。また、邦楽教室を行う「宮本スタジオ」や世界の太鼓資料館「太鼓館」など、様々な活動にも取り組んでいます。

☎ 03-3844-2141
住 台東区西浅草2-1-1
営 9:00~18:00
休 年中無休



<http://www.miyamoto-unosuke.co.jp/>

65 ヤマダの家具 (合羽橋通り)

家具・内装工事・リフォーム 地図 P.16・A2



飲食店のイス・テーブルの製造販売と内装工事を承っております。最近ではイスの張替、リフォーム工事等、大変好評です。お見積りはもちろん無料ですので、大小にかかわらずどうぞご相談ください。

☎ 03-3843-6656
住 台東区松が谷3-2-12
営 9:00~17:30
休 日曜・祝日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/yamada>

66 今昔きもの 龍巳(胡蝶) (オレンジ通り・伝法院通り角)

着物 地図 P.16・C2



胡蝶では、大正・昭和のアンティーク着物から、最近のリサイクル着物・帯などを格安にて販売しております。また、本店・龍巳にて、日本舞踊の貸衣装・かつらのレンタルも承ります。

☎ 03-3843-7606
住 台東区浅草1-39-11
営 10:30~19:00
休 無休



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/kocho.html>

67 まつもと履物店 (浅草ひさご通り)

和装履物専門店 地図 P.16・B3



自店で仕上げた草履、下駄、雪駄等を商う和装履物専門店。1899(明治32)年、浅草千束町二丁目にて創業。代々継承される職人技術と徹底した品質管理を経た、(株)まつもと履物店の和装履物をぜひ一度、お試しください。

☎ 03-3841-2461
住 台東区浅草2-22-11
営 10:00~20:00
休 火曜日



<http://www.wasou-hachimono.com/>

68 龍昇亭西むら (雷門通り)

和菓子司 地図 P.17・C2



看板の栗むし羊かんはもちろん、大桃山金龍、東京かすていら、昇り鮎など浅草の催事と、季節に因んだ品々は大人気です。創業は江戸中期と古く、安藤広重の「雷門前図」にもお店が描かれています。

☎ 03-3841-0665
住 台東区雷門2-18-11
営 09:00~20:00
休 不定休



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/nishimura.html>

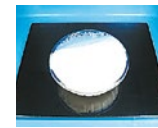
69 市川とうふ店 (万太郎横町)

豆腐 地図 P.17・B2



浅草の老舗飲食店への卸を中心に、国産大豆にこだわり手作り豆腐一筋三代にわたるお店です。店頭での販売ではなくに“おぼろ豆腐”が人気です。水にまったくさらさない、大豆風味豊かな味を一度御賞味下さい。

☎ 03-3841-1357
住 台東区雷門1-14-3
営 5:00~19:00
13:00~16:00は休憩
休 水曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/tofu.html>

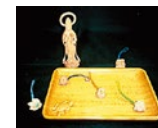
70 宗舟 (浅草消防署手前右入る)

木彫刻 地図 P.17・B2



初代より百年以上にわたり社寺、仏像、置物などの木彫刻を専門に手掛けてきました。一階はギャラリーで、大黒様や聖観音菩薩など仏彫刻、根付け、小盆なども展示しております。お気軽にお立ち寄り下さい。

☎ 03-3845-0458
住 台東区寿4-12-2
営 10:00~17:00
休 日曜日・祝日



<http://so-syu.jp>

71 宝研堂 (江戸通り駒形どぜう裏)

書道用品専門店 地図 P.17・B2



ご愛用の硯を研ぎ直し目立てをします。面を整地し直し厳選された砥石をかけ、仕上げに丸一日かけます。これを行うのと行わないのとでは、使用感、見た目にも驚くほどの違いが出ます。是非一度お試しください。

☎ 03-3844-2976
住 台東区寿4-1-11
営 平日9:00~18:00
第1・3日曜10:00~17:00
休 第2・4・5日曜、祝日



<http://houkendo.co.jp>

72 グリーンジャケット

こだわりのゴルフ用品 地図 P.17・B1



梅雨時のゴルフの必需品!夏場や雨のゴルフでグリップが滑りませんか?ゴリラゴールドが滑りを全て解決します。(全国販売店募集中)他所で見られないゴルフグッズをいろいろ揃えています。

☎ 03-3847-0871
住 台東区浅草3-12-5
ロワール浅草寿201号
営 10:00~18:00
休 日曜日・祝日



<http://www.green-jacket.co.jp/>

73 村石電気工事 (仲見世会館そば)

電気工事業 地図 P.14 - B2



右の写真は当社が電気工事をした、汐留シティセンタービル41階のFISHBANK(フランス料理店)です。このような工事を手がけ、また特殊ランプ等も販売しています。是非一度お立ち寄り下さい。

電 03-3845-2345
住 台東区浅草1-32-9
営 08:00~17:00
休 日曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/muraishi.html>

74 ホテルサンルート浅草 (田原町駅前・国際通り沿い)

ホテル業 地図 P.17 - A2



田原町駅から徒歩1分!特に出張のお客様には、気取らず、それでいて質の高いサポートを第一に考えております。また、お食事とお飲み物は24時間"jonathan's"が提供致します。装い新たになったお部屋を是非お試しください。

電 03-3847-1511
住 台東区雷門1-8-5
営 チェックイン14:00
チェックアウト11:00
休 無休



<http://www.sunroute-asakusa.co.jp/>

浅草文化観光センター



台東区浅草文化観光センターは、浅草寺を中心とする浅草の文化的遺産の保護・再発見に努めるとともに、広く全国に紹介するための施設。浅草の持つ特有の庶民文化や行事等の故事来歴などを紹介している。2012年4月20日(金)にリニューアルオープンしました。開館時間午前9:00~午後8:00。(年中無休)

台東区観光ボランティアガイド

台東区では、観光に来られた方の案内役として「観光ボランティアガイド」制度を設けています。利用できる人数は、2~3名の小グループから団体まで幅広く、「浅草寺を中心とした思わぬ発見コース」など、さまざまなご相談に応じてコースを設定してご案内しています。台東区観光ボランティアガイドに関する詳しいお問い合わせ、お申し込みは次のところまで。

台東区観光ボランティアガイド事務局

☐ TEL:03-3842-5599 FAX:03-6673-3046 ☐ ホームページ <http://www.taitouboragai.com>

槐の会からのお知らせ

浅草槐の会(あさくさえんじゅのかい)は、浅草寺のご本尊の聖観世音菩薩が、推古天皇36年(628年)3月18日、隅田川で示現され、槐の木(現在の駒形堂あたり)に安置されたといういわれから「浅草槐の会」と称しました。浅草槐の会では、楽しい浅草情報を、ホームページ、瓦版、などで紹介いたしております。また、四季折々の浅草を自由に、楽しく散策していただきたく、地図、歳時、名所、旧跡を中心に編さんした『日本の扉浅草』を刊行いたしております。この冊子が、皆様の浅草散策のお役に立てば幸いです。



えんじゅ
浅草槐の會事務局

※この冊子は、槐の会会員店舗にて無料配付しております。